

令和8年度第1回金谷区地域協議会 次 第

日時：令和8年4月8日（水）午後6時30分～
会場：金谷地区公民館 集会室1・2

1 開会

2 自主的な審議

- ・自主的な審議の進め方について

3 その他

- ・地域協議会だより編集委員について

4 閉会

※閉会后、竹灯籠のプロジェクトについて実行委員会の方から活動紹介があります。

【次回協議会 : 5月13日（水）午後6時30分～、金谷地区公民館】

【次々回協議会 : 6月10日（水）午後6時30分～、金谷地区公民館】

R 8 自主的な審議の進め方について

○金谷区カルタの作成について

- ・令和 7 年度第 9 回地域協議会（R8. 3. 11）において、提案者の小林委員を中心に有志で取り組むことに決定。
- ・金谷区地域協議会としては取り組まない。

○仮称 『金谷山アソビバ計画 親子三代で遊びつくせ！！』について

- ・小林委員の提案を受け、自主的審議事項のテーマとして検討中。

（以下、これまでに出た意見のまとめ）

金谷山公園を中心に、金谷区公民館・BMX 場・ヨーデル金谷・スキー発祥記念館などが立地する。

このエリアを、長野方面から上越エリアへの玄関口と捉え、更なる市民の憩いの場・アソビの場とするとともに、金谷区の情報発信拠点とし、各種地域団体の活動へもスポットを当てていく。

【市民参加・手作りでやれる事から】

- ・ヨーデル周辺憩いエリア（ベンチ・植栽・BMX 場入口の車止め移設・池のほとり）
- ・花と緑の公民館（ヨーデルさんとのマッチング）・山側の景観改善・地域の掲示板コーナー
- ・金谷山も季節毎に花いっぱい（花のボブスレー）
- ・安心して遊べる環境整備 スキー・ソリ 冬のアソビ充実
- ・BMX 他アクティブスポーツ・フリーマーケットなどの各種イベント（各種地域団体の連携）
- ・年間通して人があつまる場所へ

【将来的に】

- ・公民館南側エリア敷地拡張（小さな道の駅計画）
- ・金谷山周辺道路の街灯設置
- ・スキーリフトの改良
- ・金谷山ジャンプ台復活

今までの経緯や今後の進め方について（案）

- (1) 自主的審議事項のテーマについて
 - ・前々回会議において「金谷山」だけを振興するテーマに反対意見があった。
 - ・テーマは特に決めないという意見もあり。
 - ・「金谷地区振興プラン」の下に（仮称）金谷山アソビバ計画 親子三代で遊びつくせ！！とし、まずは金谷山を中心に話し合っていく。

- (2) 金谷山について、どう取り組んでいくか。
 - ① 金谷山の歴史や現状について知る。
 - ・現地確認（各自で行う）
 - ・関係者（観光協会、各種団体、行政など）からの説明を受ける。（研修）
 - ② 金谷山について考える。
 - ・地域協議会の委員間での共通認識
 - ・「金谷山が将来に向かってどうなっていたらよいか」意見交換
 - ・課題の洗い出し
 - ③ 課題の解決方法について考える。
 - ・団体との調整
 - ・行政への働きかけ

○新たな提案「少子高齢化時代の町内会組織及び活動と行政の関与のあり方について」

- ・宮越委員から提案があったが、宮越委員からは「金谷山の問題を優先して欲しい」との申し出があり、会長副会長と協議した結果、審議保留となっている。
- ・どう取り組んでいくか。（時期や方法など）

様式（委員用）

令和7年10月20日

金谷区地域協議会自主的審議に係る提案書

金谷区地域協議会
会 長 村田 敏昭 様

提案者名 宮 越 浩 司

下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

記

審議する事項	少子高齢化時代の町内会組織及び活動と行政の関与のあり方について
<p>内 容</p> <p>※下記を参考に可能な範囲でご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由 ・課題の背景 ・課題の現状 ・今後の見通し ・地域、住民への影響 ・課題が生じている場所 ・期待する効果 等 	<p>1 提案理由</p> <p>少子高齢化の進展と住民の地域社会への帰属意識の変化によって、地域社会の基礎的団体・組織である町内会組織の運営に様々な課題が発生している。特に高齢化率の高い地域である、金谷地区の町内会でも運営に支障が出ていると予想される。</p> <p>また、行政機関の情報の住民への伝達や住民要望のとりまとめなどの他、ゴミ収集や災害対応などの行政の基礎事務の協力者である地域・町内会組織の弱体化や不能化は行政運営に重大な支障が出ることを予想され、結果して住民サービスの低下が予想される。</p> <p>このようなことから、これまで以上に事態が進展する前に、金谷地区の課題の抽出と、あるべき姿の検討と整理を通じて、市全体の課題として整理し、行政の対応を促す提案を行うことが望ましい。</p> <p>2 課題の背景及び現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化と人口減少が顕著～市内では事実上限界集落もある ・地域社会への帰属意識の変化～個人主義の進行と煩雑感による町内会離れ ・役員のなり手不足による役員の固定化と、体制、事業の硬直化 ・全国での町内会加入率の減少～不加入世帯の顕在化～町内会離れの加速の恐れ～こうした傾向は全国、県、近隣市町村や市内他町内会の変化によって加速する可能性が高い。 <p>3 検討の論点案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会の必要性とその要素 ・行政事務における町内会の役割と必要性 ・町内会を維持する上で必要な要件、要素 ・町内会が最低限の機能しか果たせないとき、または解散するとき行政はどこまで担うか～ゴミ収集、除排雪、町内所在の市有地管理等々